



情報の共有を通して、様々な活動の充実や発掘を目指しています。みなさんからの積極的な情報提供が、元気なまちを創るもとになるので、ぜひ、みなさんの思いと一緒に情報をお寄せください！

クローズアップマジック教室 (養成講座)

クローズアップマジックを覚えて、あなたの特技の1つにしませんか？興味のある方は、ぜひご参加ください。(1日だけの参加もOK)

日時 3月1日(金) 18時30分～20時
2日(土) 9時～12時

場所 紀宝町福祉センター(鶺鴒殿)
対象者 ボランティア活動に興味のある方
親子での参加大歓迎♪(小学生以上)
参加費 無料
申込締切 2月22日(金)
問い合わせ 総務・地域福祉係 時松・鈴木



《クローズアップマジックとは》
数人のお客様を相手に目の前で行うマジックのことです。主にトランプやコイン、日用品などのお客様が普段目にしていられるような道具を使って手品を行います。

「社協つれもてまつり」 ボランティア・市民活動センターブースに遊びに来てね



ボランティア・市民活動センターでは、毎年「社協つれもてまつり」にリサイクル・手作りバザーの商品を出店しています。

今年も、沢山の商品を販売します。是非、お立ち寄り下さい(´▽`)。売上の一部は、ボランティア基金に寄付していただき、有効に活用させてもらっています。



(昨年のように)

ボランティア活動保険の加入・更新について

年々多様化しつつあるボランティア活動に対して、損害賠償保険の加入をおすすめしています。ボランティア・市民活動センターに登録している団体、個人ボランティアには、一人200円補助させていただきます。

登録団体の代表者、個人ボランティアの皆さんには3月上旬に平成31年度(4月1日午前0時～3月31日午後12時)のお知らせをさせていただきます。ご確認していただき、加入・更新の手続きをお願いします。



<例えば・・・>

- ・活動中食べた弁当で、ボランティア自身が食中毒になった。
- ・自転車でボランティア活動に向かう途中、他人にケガを負わせた。

紀宝町ボランティア・市民活動センター
〒519-5701 紀宝町鶺鴒殿 1074-1 紀宝町福祉センター
電話 (32) 0957 FAX (32) 0958
Eメール u.tokimatu@kiho-shakyo.or.jp



掲載内容について申し込み・おたずねは左記へお問合せください。



おもにボランティアグループや市民活動団体、NPO/NGO を応援する目的で行われる助成金の情報です。助成内容や応募条件、申請書の入手方法などは助成先によってこととなりますので、助成先又は社協へ お問い合わせください。

☆冠婚葬祭文化振興財団社会貢献基金☆



対象団体

非営利組織（財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO 法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象となります。）

申込締切

平成31年2月28日（木）

助成金額

総額 1,000 万円 1 団体上限 200 万円

対象事業

- * 研究助成事業
- * 高齢者福祉事業
- * 障害者福祉事業
- * 児童福祉事業
- * 地域つながり事業
- * 冠婚葬祭継承事業
- * 環境・文化財保全事業



問合せ先 ☎105-0003

東京都港区西新橋 1-18-12 COMS 虎ノ門
一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団
社会貢献基金助成 運営事務局
TEL : 03-3596-0061

<http://www.ceremony-culture.jp> 検索

☆ノエビアグリーン財団☆

対象団体

児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している下記の分野に当てはまる団体。

申込締切

平成31年2月28日（木）

助成金額

1 団体上限 300 万円

助成の対象となる事業

- * スポーツ体験活動
- * 自然体験活動
- * 障がいのある子供たちへの支援活動
- * 自然災害等による被災地の子供たちへの支援活動
- * 地域に根ざした子供たちへの支援活動
- * 児童養護施設の子供たちへの支援活動
- * ジュニアアスリート選手育成活動
- * 科学体験活動



問合せ先

公益財団法人ノエビアグリーン財団 事務局
TEL : 03-5568-0305
9:00 ~ 17:30 (土日祝日・年末年始除く)

www.noevirgreen.or.jp/grants/ 検索

運営委員の
つぶやき

テニスの全豪オープンで初優勝、四大大会連続優勝を制し、世界ランキング1位に輝き、日本中にわかせた、大坂なおみ選手おめでとございます。

1月12日「全国校区・小地域福祉活動サミット in 豊中」に初めて参加しました。実践者の発表をきき、地域住民が気軽に集える場づくり・ボランティアの活動力の凄さに感動しました。自分たちの未来は自分たちでつくることで、生きがいのある人生につながればと思いました。(2月号編集委員)

